容貌

太宰治

青空文庫

私の顔は、このごろまた、ひとまはり大きくなつたやうである。もとから、小さい顔ではなかつたが、このごろまた、ひとまはり大きくなつた。美男子といふものは、顔が小さくきちんとまとまつてゐるものである。顔の非常に大きい美男子といふのは、あまり實例が無いやうに思はれる。想像する事も、むづかしい。顔の大きい人は、すべてを素直にあきらめて、「立派」あるひは「莊嚴」あるひは「盛觀」といふ事を心掛けるより他に仕樣がないやうである。濱口雄幸氏は、非常に顔の大きい人であつた。やはり美男子ではなかつた。けれども、盛觀であつた。莊嚴でさへあつた。容貌に就いては、ひそかに修養した事もあつたであらうと思はれる。私も、かうなれば、濱口氏になるやうに修養するより他は無いと思つてゐる。

顔が大きくなると、よつぽど氣をつけなければ、人に傲慢と誤解される。大きいつらをしやがつて、いつたい、なんだと思つてゐるんだ等と、不慮の攻撃を受ける事もあるものである。先日、私は新宿の或る店へはひつて、ひとりでビイルを飲んでゐたら、女の子が呼びもしないのに傍へ寄つて來て、「あんたは、屋根裏の哲人みたいだね。ばかに偉さうにしてゐるが、女には、もてませんね。きざに、藝術家氣取りをしたつて、だめだよ。夢を捨てる事だね。歌はざる詩人かね。よう！　ようだ！　あんたは偉いよ。こんなところへ來るにはね、まづ齒醫者にひとつき通つてから、おいでなさいだ。」と、ひどい事を言つた。私の齒は、ぼろぼろに缺けてゐるのである。私は返事に窮して、お勘定をたのんだ。さすがに、それから五、六日、外出したくなかつた。靜かに家で讀書した。

鼻が赤くならなければいいが、とも思つてゐる。

青空文庫情報

底本：「太宰治全集11」筑摩書房
　　1999（平成11）年3月25日初版第1刷発行
初出：「博浪沙　第六巻第六号」
　　1941（昭和16）年6月5日発行
入力：小林繁雄
校正：阿部哲也
2011年10月12日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

容貌

太宰治

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/